

## 松川・桜橋上流に注ぐ流れ 防火用水の跡か?(富山市)

れていた。松川がその名残り。左図参照。 川は改修工事前で、中心部を蛇行して流 神通川に注いでいたそうだ(当時、 荒町を経て、 白山社の脇から中野新町・南田町・西町・ たという。 真っただ中を貫通した防火用水があっ 治から大正にかけて、 隈史話」(広瀬誠著)を読んでいたら、 富山市立図書館で見つけた「上本町界 幅は約13メー 木町(現在の本町)の地点で 現在の上本町の ルで、 西中野

> に締め切られた)。 0 明治34~36年に馳越線工事が行われ バイ パスが本流となり、大正15年 、、そ

ており、 新たな城を築いたのは有名な話である。 がら、火災のために、現在の高岡の地に 前田利長が隠居城を一度は富山城にしな 間に三度も全焼したほどだったという。 富山城下町は、何度も大火災を起こし 妙楽寺という寺は、住職一代の

文久3年(1863)、中野散地町(現

地鉄富山駅 CiC 名鉄ト ホテル 県民 富山市役所 県庁 会館 桜橋 松川 遊覧船乗り場 富山第一ホテル 富山城址公園 売町 国際会議場 ANAクラウン プラザホテル 富山商工 会議所 持代の富山城 大和 西町 太田口通り アピタ 日枝神社 南田町 星井町

JK富山駅





3

からの勢いのある水が松川に注ぐ。②リ ベット打ちの鋼製アーチ橋「桜橋」。平成11年11 月に県内の橋梁で初めて国登録有形文化財に登 録された。③④違った角度から見た土管。⑤銘板。



の費用がかかるということで、藩庁は実水を敷設する計画が立てられたが、多額の大火の後、土川から水を引いて火防用 施を中止した。 町に相当する町並みも残らず焼けた。こ の星井町)の家から出火。現在の上本

失した『安田焼け』の大火の後、藩政時代 南側を流れており、 6月に工事が完成した。 いたのかは不明だ。 水したというが、 とが決まり、 の計画が再び取り上げられ、 さて、 明治18年(1885)、 明治19年と言えば、7歳の滝廉 明治19年7月着工、 現在の土川はず どのように取水して 水は土川から取 6 0 0 0 戸 実施するこ 翌 20 年 ぶん が

られ、 太郎が、 は?と広瀬氏)暗渠となっ 音を立てて流れ、西側には松や柳が植え きた年。彼もこの工事を見ただろう 上からは見えなくなった。 相当)となった父と一緒に富山にやって には除雪溝として活用された。その後(た 防火用水は、現上本町の町並みの間に 大正15年の都市計画によってで 町の風物詩であった、という。 富山県の書記官(現在 てしまい、 の副知 か ? 冬

時の防火用水の名残りなのだろうか?⑩ 桜橋上流左手の土管から流れる水は当

Good Luck 2009.11 Good Luck 2009.11 40